

## 9/12 (土) 使ったよ!子育て応援券

矢板公民館で、「子育て応援券」を利用したレポートコンテストの表彰式が行われました。このコンテストは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、支出の増えた子育て世帯の応援と地域経済の活性化を目的として配布された応援券を利用する際に、子どもたち自身で考えたことや振り返りをレポートとしてまとめることで、本市の良さに気づき、親しみや愛着を深めてほしいと企画されました。受賞したお子さんは「今まで知らなかったお店を知ることができた。また利用してみたい」と話してくれました。



▲審査は未就学児から高校1年生までを年代別に5部門に分けて行われました。部門ごとに最優秀賞と優秀賞5人が表彰され、市長などから賞状と賞品が授与されました。

## 9/14 (月) 感謝の思いを込めて

栃木日産自動車販売(株)から医療用ガウン 200 着の寄附がありました。このガウンは、10月に開設した塩谷・南那須PCR検査センターに従事する関係者などに配布し活用する予定となっています。

小平 雅久代表取締役からは「日産栃木工場の有志メンバーが、新型コロナウイルス感染症の対応で活躍する医療従事者に感謝と激励の思いを込めて手作りしたものの。メンバーの思いが医療従事者に伝わってもらえば」との話がありました。



◀ (左から)  
【矢板市】  
石崎健康福祉部長  
齋藤市長  
【栃木日産自動車販売(株)】  
小平 雅久代表取締役  
野澤 勇 常務取締役  
羽瀬 直輝矢板支店長

## 10/1 (木) 輝く職業人に魅了

片岡中学校で、「栃木照る照る坊主の会」協力のもと「職業人から聞く～宇宙一の授業～」が開かれ、県内外から来校した講師10人が、仕事の魅力などについて熱弁をふるいました。この授業は、多様な職業があることを知り、そこで働く人たちの生き方に触れることで、自分の人生設計や生き方に興味を持ってもらいたいとの思いから行われているものです。

授業を受けた生徒からは「自分が将来就きたい職業で実際に働いている人から直接話を聞くことができ、改めて魅力を感じた。とても参考になった」との感想がありました。



「栃木照る照る坊主の会」とは…東日本大震災を機に復興支援や子どもの育成など、“多くの明日を照らしたい!”をテーマにさまざまな活動を行っているボランティア団体。

## 10/3 (土) 来年の開花を楽しみに

八方ヶ原の大間々で、泉交流協議会・緑化推進委員会・市の3者共催によるレンゲツツジの枯枝除去作業が行われました。これは、来春の花付きを少しでも良くするため毎年行われているもので、今回はここ数年で最も多い79人のボランティアの方が参加しました。

今年は、花付きが悪く例年通りの開花は見られませんが、参加者たちは「来年はきれいな花をたくさん付けて、多くの方に喜んでもらいたい」と話しながら、一つひとつ丁寧に枯枝を除去していました。

